

2021年10月29日

## 株式会社好信 様

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、りそなグループ「SDGs 推進私募債」を通じて（公財）日本ユニセフ協会が実施するSDGs（持続可能な開発目標）普及啓発事業に貴重なご寄付をお寄せいただきました。御社よりあたたかいご賛同を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

ご承知の通り2015年に国連で採択されたSDGsは、国連・国際機関や各国政府だけでなく、企業、NGO、学術団体、市民社会、そして個人へと広がりを見せ、いまでは、世界の未来を語る上での共通語となっています。

子どもの権利を実現し、子どもたち一人ひとりがその可能性を十分に伸ばして成長できることこそが、持続可能な世界の礎となります。そして、持続可能な社会を築く道標ともいえるSDGsは、変化の激しいこれからの世界で生き、様々な課題解決に取り組む子どもたちにこそ伝えるべきものであると考えます。

当協会は2018年秋、外務省と協力して、SDGs副教材『私たちがつくる持続可能な世界 SDGsをナビにして』を制作いたしました。りそなグループ様を通じて皆様より継続してお寄せいただいておりますご支援を活用し、毎年、全国すべての中学3年生約110万人に本副教材を配布しております。昨年まで10月に配布してまいりましたが、早くほしいという学校からのご要望にお応えし、本年は5月に全国の中学校にお送りしました。また、当協会が開設している子ども向けSDGs学習用ウェブサイト『SDGs CLUB』も内容を拡充し、本副教材を使った学びをサポートしています。最新版のSDGs副教材を同封いたしますので、ご高覧いただけましたら幸いに存じます。

世界的にはまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せずにおります。「誰ひとり取り残さない」、「パートナーシップによる課題解決」というSDGsの理念を実現できるか、この危機はその試金石ともなっています。ユニセフもCOVAXという公平なワクチン分配を進める取り組みに参加しておりますが、世界が協力してこの危機を乗り越える姿を子どもたちに示していきたいと考えております。

今後とも、皆様のお力添えのもと、世界の子どもたち、そして、日本の子どもたちの成長に資する活動を進めてまいります。引き続き、あたたかいご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

公益財団法人 日本ユニセフ協会

専務理事 早水 研